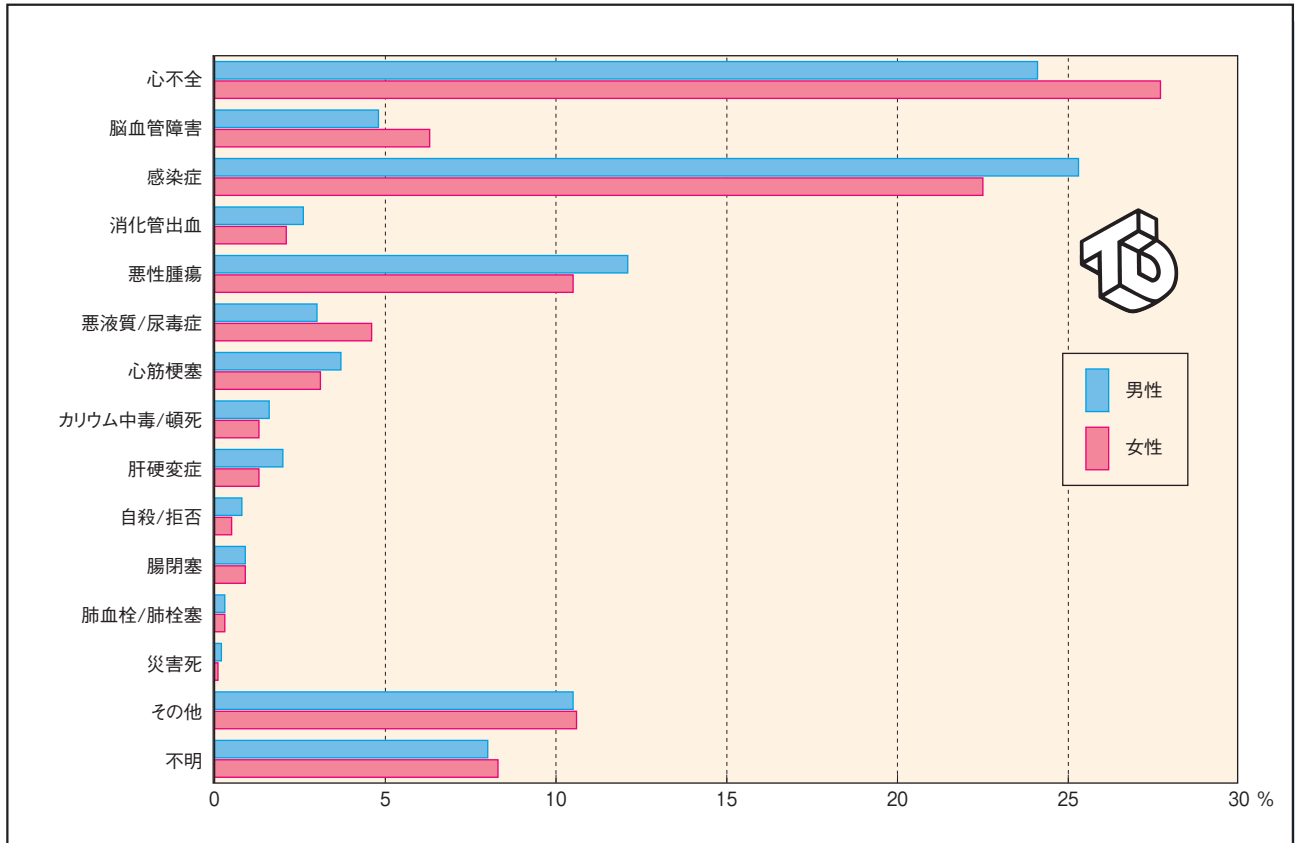


5) 死亡原因

(1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全 (%)	472 (24.1)	285 (27.7)	757 (25.4)	0	757 (25.4)	自殺/拒否 (%)	16 (0.8)	5 (0.5)	21 (0.7)	0	21 (0.7)
脳血管障害 (%)	94 (4.8)	65 (6.3)	159 (5.3)	0	159 (5.3)	腸閉塞 (%)	17 (0.9)	9 (0.9)	26 (0.9)	0	26 (0.9)
感染症 (%)	495 (25.3)	232 (22.5)	727 (24.4)	0	727 (24.4)	肺血栓/肺栓塞 (%)	5 (0.3)	3 (0.3)	8 (0.3)	0	8 (0.3)
消化管出血 (%)	51 (2.6)	22 (2.1)	73 (2.4)	0	73 (2.4)	災害死 (%)	4 (0.2)	1 (0.1)	5 (0.2)	0	5 (0.2)
悪性腫瘍 (%)	237 (12.1)	108 (10.5)	345 (11.6)	0	345 (11.6)	その他 (%)	206 (10.5)	109 (10.6)	315 (10.6)	0	315 (10.6)
悪液質/尿毒症 (%)	59 (3.0)	47 (4.6)	106 (3.6)	0	106 (3.6)	不明 (%)	156 (8.0)	85 (8.3)	241 (8.1)	0	241 (8.1)
心筋梗塞 (%)	72 (3.7)	32 (3.1)	104 (3.5)	0	104 (3.5)	合計 (%)	1,955 (100.0)	1,029 (100.0)	2,984 (100.0)	0	2,984 (100.0)
カリウム中毒/頓死 (%)	32 (1.6)	13 (1.3)	45 (1.5)	0	45 (1.5)	記載なし	5	1	6	0	6
肝硬変症 (%)	39 (2.0)	13 (1.3)	52 (1.7)	0	52 (1.7)	総計	1,960	1,030	2,990	0	2,990

患者調査による集計

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

2011年新規導入患者の2011年末までの死亡原因を性別に分類した図表である。2003年から死亡原因コードを国際疾病分類第10回修正版 (ICD-10) によるコード番号に変更したが、2010年末調査から死因コードを一新した。男性では、感染症 (25.3%)、心不全 (24.1%)、悪性腫瘍 (12.1%)、その他 (10.5%) の順で多く、女性では心不全 (27.7%)、感染症 (22.5%)、その他 (10.6%)、悪性腫瘍 (10.5%) の順が多かった。男性の順序は2009年と同様であったが、心不全が1.3%増加した。女性の順序は2009年に感染症が第一位であったが、2010年に心不全が第一位となり、2011年も同様であった。心不全の割合は0.8%減少している。全体でも心不全が25.4%で第一位の死因であった (2010年と比べて0.5%の増加)、感染症が24.4%で1.9%の減少を示し、一位と二位が逆転した。第三位は悪性腫瘍の11.6%で0.9%減少した。特筆すべきは脳血管障害が5.3%で0.5%増加したことである。